

わ か が え が わ

若返り川



か ひと しっぴつしゃ たばた みつえ
書いた人（執筆者）：田畑サンドーム光恵

てつだ ひと にしお さちこ
手伝ってくれた人：西尾佐知子

むかし ところ す
昔、ある所に、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

まいにちちか かわ きもの せん
おばあさんは毎日近くの川で着物を洗たくしていました。

てんき ひ
あるお天気のいい日のことでした。

きょう てんき あたた きも
「まあ、今日はなんてお天気がいいだろう。温かいし気持ちがい
ひ とお い
い。こんな日はちょっと遠くまで行ってみよう。」

おも
おばあさんはそう思いました。

そして、おばあさんはおじいさん
い
に言いました。

きょう てんき
「おじいさん、今日はお天気がいい
とお かわ せん
から、ちょっと遠くの川まで洗たく
い
に行ってきますよ。」

おじいさんは、「ああ、行ってお
もり なか とお とき き
いで。森の中を通る時は気をつける
はや かえ
んだよ。早く帰ってきなさいよ。」

おばあさんは、「はい、はい。」と答えました。
こた



おばあさんが出かけた後、おじいさんは家で大工仕事をしました。戸
がかたくなっていたので直しました。屋根の雨漏りも直しました。床に
小さな穴が開いているのも直しました。忙しく働きました。

気が付くと、もう外は少し暗くなっていました。

「どうしたんだろうな。おばあさんはまだ帰って来ないなあ。」おじい
さんは、おばあさんのことが心配になりました。



そこへ、若い女の人がやって来ま
した。女の方は、

「ただいま、おじいさん。遅くなっ
てごめんなさいね。」

と言いました。

おじいさんは、「どちらさまです
か。」とたずねました。

すると、その若い女の方は、「私ですよ、おじいさん。わからない
の。ほら、朝と同じ着物を着ているでしょう。」

おじいさんは、その若い女の人の着物をよ〜く見ました。たしか
に、朝おばあさんが着ていた着物とまったく同じです。

おじいさんは、訳がわかりませんでした。そして、こう聞きました。

「でも、あなたはとても若い。私のおばあさんは、もう60歳を過ぎて
いますよ。その着物はどこで見つけたんですか。」

すると、その若い女の人はこう答えました。

「おじいさん、私は今日森の

むこうの川へ洗たくに行きました。

あんまり暑いから、川の中に入ったんですよ。

するとどうでしょう。

どんどんお肌がきれいになってきたんですよ。

白い髪もどんどん黒くなってきたんですよ。

て
手もしわくちゃだったのが、ツルツルになって
きたんですよ。

その川は『若返りの川』だったんですよ。」



「え~~~~~!!!」その話を聞いて、おじいさんはとてもびっくりしてこう言いました。

「じゃあ、私もその川に入ったら、若くなるのかな。」

「そうですよ、おじいさん。明日の朝その川に行って泳いできたらいいわ。」

さて、次の日の朝になりました。おじいさんは昨日おばあさんに言われたとおり、森の向こうの川に行くことにしました。

で、出かける時、おじいさんはおばあさんに言いました。

「私も、おばあさんみたいに20歳くらいになって帰ってくるからね。楽しみにしてるよ。」

おばあさんも、おじいさんもとても嬉しそうでした。



でも、夜よるになってもおじいさんは帰かえってきませんでした。おばあさんは、とても心配しんぱいになりました。

「おじいさん、どうしたんだろう。ちょっと川かわまで様子ようすを見みに行いこう。」

おばあさんは、森もりの中なかを歩あるいて川かわまで来きました。でも、おじいさんはどこにもいません。

「おじいさ～ん、おじいさ～ん。どこにいるの?!」

よよ呼へんじんでも返事へんじはありません。

しばらくして、何かなに聞きこえてきました。

「オギャー、オギャー。」

『こんな所ところに赤あかちゃんがいるんだろうか。。。』おばあさんは、ふしぎおもに思おもいましたが、赤あかちゃんの泣なき声こゑの方ほうに歩あるいて行いきました。

すると、川かわの岸きし辺べの草くさの中なかに赤あかちゃんがいいました。おなかがすいていなるようです。「オギャー、オギャー。」と泣ないています。

「あらあら、かわいそうに。こんな所ところに一人ひとりでどうしたの。」

おばあさんが赤ちゃんを抱き上げようとした時、月の光で赤ちゃん
の横に着物があるのが見えました。

「これは！！！」

おばあさんが見つけたのは、おじいさんが朝着ていた着物でした。



「え？あなたは、おじいさん？」

おばあさんは、^{しん}信じられませんでした。

「そうだ、おじいさんなら、おへその^{よこ}横に^{おお}大きいほくろがあるはずだ。」

おばあさんは、^{あか}赤ちゃんのおへそ^みを見ました。そこには^{おお}大きいほくろがありました。

「おじいさん！！！」

そうです。おじいさんは、「もっと、もっと^{わか}若くなるぞ。」と思っ
て、^{がわ}ず^{みず}〜と^{はい}川の^{あか}水に入っていたので、^{あか}赤ちゃんになっちゃったので
す。

(1115 語)